

平成 28 年度 小規模多機能型居宅介護 サービス評価

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表
平成 29 年 1 月 25 日実施

◆自己評価
事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

(株)ケア・フレンズ
くつろぎの家・よかったね

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	(株) ケア・フレンズ	代表者	脇屋 智樹	法人・事業所の特徴	足羽川沿い桜並木の付近にある事業所として、地域の特性を活かした活動ができればと思っています。また、「利用者様の望む場所で自分らしく」を大切に、自己実現を目指してお手伝いさせていただきます。季節に応じた活動を取り入れ、外出支援、買物、ドライブ等様々な活動を行っています。地域の祭りや運動会などの行事にも参加させていただいています。今後も地域の方々と交流を積極的に深めていき、「優しい街づくり」を目指し、地域に出て活動していこうと取り組んでいます。
事業所名	くつろぎの家 よかったね	管理者	山崎 弘明		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	3人	0人	0人	1人	0人	3人	0人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<p>①職員一人ひとりが、決まった事をすぐ議事録にまとめ確認し実践する。</p> <p>②今あるマニュアル、チェック表の機能を活かす。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティング等を通して職員間の連携をとり、問題解決に向けて話し合いができています。運営上、ミーティングに参加できない職員がいる。 ・職員によっては、個々の支援計画を十分に把握できていないことがある。 ・独居の方で体調不良がみられる時には、訪問から通い、通いから宿泊へと柔軟なサービス提供が行えている。 ・利用者の日々の小さな変化に気づいた職員からの報告が一部の職員までしか伝わっていないことがある。 ・研修に参加できない職員はいたが、常勤職員に関しては目的をもって研修に参加することができた。 ・人権・プライバシーの保護については、概ねできた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よくできている項目とそうでない項目があるように思われた。 ・具体的な計画であれば、頻度や達成目標の数値が掲げられているとわかりやすく良いと思う。 ・自己評価の項目が適切なものがよくわからない。 	<p>①事業所自己評価の取組みは、職員ひとりひとりへ実施方法指導をしっかりと行う。取りまとめる際には、全員参加のミーティングにて、自己評価の確認とともに互いの意見を出し合って行う。</p> <p>②改善計画の中で、具体的な目標数値を掲げるようにする。</p>

<p>B. 事業所の しつらえ・環境</p>	<p>①花壇づくりは継続して行う。 ②その他、駐車場を活用して餅つき等開催しているが、お天気のいい日はお茶の時間や体操をしているので、ご近所の方も気軽に来られるようお誘い出来るといい。</p>	<p>・玄関などの事業所周辺に花壇の設置などの工夫を行った。</p>	<p>・駐車場があって、入口までが遠く、入りづらい。看板があるが、現在設置されている場所では、来訪者が視認しにくく、わかりづらいのではないかと？ ・入口の表示や照明で工夫できないだろうか？</p>	<p>①テナント管理会社との相談を行い、看板の設置位置などの工夫や事業所入口の案内板の設置などの環境改善を行う。 ②地域の方も気軽に訪れることができるような雰囲気作り（花壇の設置等）も引き続き行っていく。</p>
<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>①新人職員も地域行事の話し合いに参加する。（自己紹介を進んでする。） ②無料相談も承っているのので日を決めて、お困りごともお聞きできるといい。</p>	<p>・地域との交流の場に進んで参加する機会を作れた。 ・地域行事（祭りや運動会等）の予定を把握し、参加を企画し、実施できている。 ・随時受付ではあるが、地域の方からの相談に応じることができた。</p>	<p>・事業所が地域住民に広く深く認知されているとは言えない。 ・地域の行事イベントに参加していることは知っている。 ・多くの地域住民に知ってもらうためにも、イベント参加時には、挨拶などを行って事業所PRをするとよいのではないかと？</p>	<p>①湊桜まつり・湊地区運動会・照手一区運動会などの行事に参加するとともに、イベントの代表者を通して、地区の方々へ事業所の認知を深めていただけるようなアピールの機会を作る。 ②地区イベント参加時には、『よかったね』シャツを着用する。</p>
<p>D. 地域に出向いて 本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>①他の区の民生委員さんに、会議の声かけをしていき地域を広くみていき、活動の場を広げていきたい。（参加しやすい場所等事前に確認しておく。）</p>	<p>・地域資源の活用ができている利用者については、継続できるように支援している。</p>	<p>・地域の公民館で行われている自治会デイへ参加されている利用者を知っている。事業所職員がサポートしていることも知っている。 ・事業所利用者が地区の運動会に参加されているのは知っているが、一部の方にしか認知されていない。せっかくなので、地区の子どもたちとの交流のきっかけを作り、子どもたちにも事業所へ来てもらえるような関係づくりに発展していけるとよいのではないかと？</p>	<p>①地区の行事では、地区の住民、特に子どもたちとの交流が深まるような仕組みを考える。 ②イベントへは、子どもたちへの贈り物を用意して参加するなど、利用者が自然と子どもたちと接点を持ち、関係作りができるように職員がサポートしていく。 ③参加時には、くつろぎの家・よかったねの利用者とわかるような何かを身に付ける。</p>

<p>E. 運営推進会議を活かした取り組み</p>	<p>①事前に会議のテーマをわかりやすく周知して、プランまで話し合う工夫をしていく。 ②参加者については、利用者様が住んでいる地域の方が来てくれるといい。(民生委員、包括等)</p>	<p>・ある利用者の現状を確認し、支援計画についても話し合う機会がもてた。</p>	<p>・会議において、『報告事項』と『議決事項』と明確に分けて、後者については、課題・期日・担当などを明確にしておくべきである。</p>	<p>①運営推進会議へ利用者またはご家族の参加を検討し、呼びかける。時間設定などについては、調整を図り、年に一度は利用者またはご家族の参加する会議を開催する。 ②必要に応じて、事業所所属地区以外の民生委員の参加を依頼する。 ③事業所の防災に関する議題を話し合う機会をもち、その際には、自治会長の参加を要請し、協力体制を構築する。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>①災害時等、情報交換できるような体制を整え、協力できるという。</p>	<p>・マニュアルの整備について、不備な部分が残っている。 ・事業所の所属する自治会会長との話し合いの機会を模索中。</p>	<p>・防災計画については、火災・地震はあるが、水害に関する計画は未設定。 ・地震・水害などの天災が発生した時は、まずは自分自身の安全確保が最優先となり、その上で、周辺の方へ助けの手を伸ばすことになる。事業所においては、まず、利用者を優先し、その上で、地域住民への協力を考慮してもらうようにお願いしたい。(市・包括)</p>	<p>①現行の防災計画の精査、未計画については作成を急ぐ。また、防災計画にそった訓練を実施(年2回以上)する。 ②火災訓練時、消火訓練などには、民生委員の方の協力を得て、地域の方の参加を呼びかける。</p>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 11 日 (17 : 00 ~ 19 : 00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 常勤 : 6 名 非常勤 : 6 名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未記入 (新入社員等)	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	0 人	4 人	0 人	0 人	8 人	12 人

前回の改善計画

1. スタッフ間の情報共有の強化。カンファ内容は必ず確認し、確認したこと分かるようサインの徹底。
2. 家族との信頼関係作り

前回の改善計画に対する取組み結果

ミーティング等を通して職員間の連携をとり、問題解決に向けて話し合いができています。
家族との信頼関係作りはできてきたが、利用者よりも家族の要望が優先されている傾向がある。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未記入 (新入社員等)	合計 (総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	10	1	0	0	12
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	8	3	0	0	12
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	7	1	0	1	12
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	9	0	0	0	12

できている点 *よくできているまたはなんとかできているの意見
 利用者の声を聴き、言葉・行動を記録に残し、家族・医師等へ適宜、報告・連絡・相談を行っている。また、ミーティング等を通して職員間の連携をとり、問題解決に向けて話し合いができています。
 新規利用の方も不安や不快のないように、座席に配慮し、声かけを行い、他利用者と少しずつ接点をもてるように配慮している。また、環境になれず、息が詰まっていそうだと感じたら、個別に外出・散歩をする等の配慮ができています。ご家族の方が、関わりを持って下さるようなきっかけ作りをしている。

できていない点 *あまりできていないまたはほとんどできていないの意見
 利用者や家族の想いはそれぞれであり、利用者本人の思いより家族の要望が優先されている傾向がある。基本情報・支援計画等について、ミーティング等を通じて共有を図るが、利用者ひとりひとりの生活歴等までの把握・理解が十分ではない。環境に慣れていない時期の支援・声かけに配慮が足りないことがある。

次回までの具体的な改善計画

- ① 事前情報・計画をもとに日々の支援を行う中で、利用者とは話を重ね、接する時間を多く作り、記録に残す。その方をより知っていくことで、本人の思い・希望をより深く探っていく。
- ② 定期的なミーティングの場で、職員間の情報共有を深める。
ミーティングに参加できなかった職員は、議事録で内容確認し、詳細は参加者から口頭確認を得る。
- ③ 利用者・家族・主治医らとの関係作りにも努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 11 日 (17 : 00 ~ 19 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 常勤 : 6 名 非常勤 : 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未記入 (新入社員等)	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	0 人	4 人	0 人	0 人	8 人	12 人

前回の改善計画

1. 関わりにしてもみんな同じでなく、一人一人目標にそった関わりを心がける。目標の把握。
2. 利用者の声に耳を傾ける。

前回の改善計画に対する取組み結果

職員によっては、個々の支援計画を十分に把握できていないことがある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未記入 (新入社員等)	合計 (総人数)
① 「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	6	5	1	0	12
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	7	4	0	1	12
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	6	6	0	0	12
④ 実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	3	6	0	1	12

できている点 *よくできているまたはなんとかできているの意見

ライフサポートプランを活用し、日頃の要望や思い、興味のあることや生活歴を伺いながら、本人の意思・想いを尊重して支援をしている。個人記録に長期・短期目標を記載し、プランの周知をしている。個別ミーティング等を行い、次の対応に活かしている。その他、本人ができることを職員がしてしまわないように配慮し、声かけ・見守りしている。外出等を通じて、一緒に活動するようにしている。

できていない点 *あまりできていないまたはほとんどできていないの意見

個々の支援計画を把握できていないことがある。その為、本人の「～したい」を目指した関わりにそったケアとのズレが生じていることがある。日々の関わりで、運動やリハビリ等を目的とした支援が組まれているが、目の前のことに追われ、できていないことがある。支援に繋がる情報を得て、記録に残すが、全職員に詳細まで伝えきれていない。個別ミーティングの機会が減っている。

次回までの具体的な改善計画

① 利用者ひとりひとりの「～したい」という思いを知ろうという意識をもった行動を心がける。
② 『業務に追われている。時間が作れない。ひとりの方に関わっている時間が短い。』ということについては、業務内容を見直し、手順等を工夫することが必要。→ 業務マニュアル等の検討・更新。
③ 漠然としたケア内容にならないように、常に利用者それぞれの短期目標を把握して、直近の情報収集に努める。個人記録の内容に目を通し、適宜、情報の詳細を職員間で口頭伝達する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 11 日 (17 : 00 ~ 19 : 00)

3. 日常生活の支援

メンバー 常勤 : 6 名 非常勤 : 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未記入 (新入社員等)	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	0 人	1 人	0 人	11 人	12 人

前回の改善計画	
1. 以前の生活を把握できるよう努める。方法として本人だけでなく、家族、地域の方を含めてのアセスメントする。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
職員によっては、個々の利用者・家族・地域等のアセスメントが十分でなく、把握できていないことがある。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未記入 (新入社員等)	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	0	3	8	1	0	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	9	0	0	0	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	7	3	0	0	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	10	1	0	0	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	10	0	0	0	12

できている点	*よくできているまたはなんとかできているの意見
その人らしく生活できるよう、声にならない声も拾えるように努めている。急な体調の変化を知るには日々接していないとわからないので、ひとりひとりの顔を見て介護している。 利用者の発言や行動から、精神状態(気持ち)・体調(表情・バイタル・食事・排泄等)の変化に気づくことができている。都度、対応しており、一時的に体調の悪い方、以前の生活と変わってきた方では、支援方法を変えて状況に合わせている。スタッフ同士で情報共有もできてきた。	

できていない点	*あまりできていないまたはほとんどできていないの意見
以前の暮らし方を十分に把握できていない。自宅での環境など、把握しきれていない。 自宅での暮らしに関してのミーティングが少ない。(少人数ではミーティングできているが…)	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
① すべての利用者のフェイスシート等を確認できていないので、職員全員が確認する。すべてのことにおいて、把握できていないというのは、支援するにあたり、マイナス要素であることを再認識する。 ② 全職員集まってのミーティング開催が不可能だが、可能な限り多くの職員で集まるように努める。 ③ 本人からの聞き取りのみでは、正確な情報収集とならない場合があるため、家族・昔の馴染みの方からも以前の暮らしの情報収集が行える機会をつくる。→ C-1 シートへの記録を続ける。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 11 日 (17 : 00 ~ 19 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 常勤 : 6 名 非常勤 : 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未記入 (新入社員等)	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	3 人	1 人	0 人	8 人	12 人

前回の改善計画

- その人の地域での行事、関わりを積極的に参加していく。その為にどんな行事があるのか地域資源を把握する。
- あった時にはあいさつからはじめ、地域との関係づくりに努める。

前回の改善計画に対する取組み結果

地域との交流の場に進んで参加する機会を作れた。
近所の方と顔を合わせたときには、しっかり挨拶できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未記入 (新入社員等)	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	7	4	0	0	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	9	1	0	0	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2	6	4	0	0	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	6	4	2	0	12

できている点 *よくできているまたはなんとかできているの意見

プラン作成時、本人・家族・地域関係者から今後の暮らし等の聞き取りをする。自治会デイや祭り、運動会等の行事に参加する機会を作っている。地域行事等を通して、地域環境のアセスメントをしている。地域との関係性が良好であるように事業所職員が繋ぎ役となっている。ある利用者は、自宅近くの昔馴染みの床屋へ通う支援を継続している。米寿を迎えた方のお祝いを兼ねて、出生地へ外出支援を行った。通い送迎や訪問ケアの際、近所の方と挨拶等を交わしている。

できていない点 *あまりできていないまたはほとんどできていないの意見

本人のこれまでの地域との関わり方(生活スタイル)、人間関係の把握が十分ではない方がいる。特に、新規利用者の情報が薄い。また、利用者それぞれの地域資源の把握が十分ではない。利用者と家族が疎遠状態、もしくは独居のため、情報収集が十分に行えない。

次回までの具体的な改善計画

- 家族や関係各所(包括支援センター・民生委員・福祉委員・自治会長等)とは、できる範囲で連絡を取り合い、いつでも連携をとれる関係・環境を整えておく。
- 事業所へ来てくださるボランティアの方からの情報収集を行う。
- 地域の方との関わりを続けている方が限られているが、少しでも利用者が地域で暮らす方と接点があるような支援(行事への外出等)を続ける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 11 日 (17 : 00 ~ 19 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 常勤 : 6 名 非常勤 : 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未記入 (新入社員等)	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	2 人	1 人	0 人	9 人	12 人

前回の改善計画

1. 地域の資源を使っでの支援。デイホーム、婦人会等の把握、交流。
2. ミーティング時間の検討。

前回の改善計画に対する取組み結果

地域資源の活用ができていない利用者については、継続できるように支援している。
 独居の方で体調不良がみられる時には、訪問から通い、通いから宿泊へ柔軟なサービス提供が行えている。
 利用者の日々の小さな変化に気づいた職員からの報告が一部の職員までしか伝わっていないことがある。
 ミーティング開催時間は、勤務中 (13 時~14 時) に行うように工夫できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未記入 (新入社員等)	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	9	3	0	0	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	6	2	0	0	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	8	3	0	0	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	7	1	0	0	12

できている点 *よくできているまたはなんとかできているの意見

地域資源の活用ができていない利用者については、継続できるように支援している。
 通いの予定であっても利用者の身体面・精神面それぞれの状態によっては、訪問に切り替えて様子を見ることもある。独居の方で体調不良がみられる時には、訪問から通い、通いから宿泊へと柔軟なサービス提供が行えている。また、別居のご家族への連絡も行っている。

できていない点 *あまりできていないまたはほとんどできていないの意見

事業所周辺の地域資源はだいたい把握できているが、利用者個々の地域資源に何があるのか、どのように活用してよいのかわからないことがある。
 業務上、申し送りやミーティングに全職員が参加することができない。申し送りでの情報伝達時、伝え漏れてしまうことがあり、利用者の日々の小さな変化に気づいた職員からの報告が一部の職員までしか伝わっていないことがある。

次回までの具体的な改善計画

- ① 利用者それぞれの地域資源の把握に努める。また、活用できるように支援体制を整える。
- ② 業務上、申し送りやミーティングに全職員が参加することができないということを職員ひとりひとりが再認識して、皆がお互いに日々の利用者の小さな変化等も情報伝達が正確に行えているかを確認する。情報を提供する側と受ける側の双方で歩み寄って情報交換する。
- ③ 利用者の日々の様子を個人記録へ残す。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 11 日 (17 : 00 ~ 19 : 00)

6. 連携・協働

メンバー 常勤 : 6 名 非常勤 : 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未記入 (新入社員等)	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	0 人	2 人	1 人	0 人	9 人	12 人

前回の改善計画

1. 自治ダイの会議への参加。
2. 子供に参加してもらっての事業所行事、地域イベントについて事業所ミーティングをとおして企画していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

地域行事(祭りや運動会等)の予定を把握し、参加を企画し、実施できている。
随時受付ではあるが、地域の方からの相談に応じることができた。
玄関などの事業所周辺に花壇の設置などの工夫を行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未記入 (新入社員等)	合計 (総人数)
① その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	0	6	5	1	0	12
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	4	6	2	0	12
③ 地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	2	10	0	0	0	12
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	7	4	0	0	12

できている点 *よくできているまたはなんとかできているの意見

現場職員からの声を参考に、課題があれば、関係機関と電話・FAX(紙面)等で連絡をとっている。
毎年、地域行事(祭りや運動会等)の予定を把握し、参加を企画し、実施できている。気候・天候の良い時には、事業所前の駐車場を活用し、青空喫茶等を行って道行く地域の方との交流の機会が作れるように努めた。地域住民には高齢者は多く、事業所前が散歩コースとなっている方が立ち寄ることがある。
一部職員は、認知症サポーター養成講座のお手伝いをしている。

できていない点 *あまりできていないまたはほとんどできていないの意見

関係機関との会議開催は、ケアマネが、事前の調整を図り、他の職員も参加の声かけを行うが、状況によっては、難しい場合もある。
事業所の構造上、防犯体制もあり、初見で気軽に立ち寄れる環境にはなっていない。
地域住民には高齢者は多いが、子供が少ない。地域に関心が薄い職員の巻き込みに努力が必要。

次回までの具体的な改善計画

① 必要に応じて、各関係機関との会議を開催していく。できる限り参加予定者が揃うように、日時等の調整を図っていく。自治体や町内会との繋がりも保つことができるように、会議等の開催の際は、職員が参加できるように調整する。
② 事業所前の駐車場を活用し、青空喫茶等の開催を企画し、定期的に行える体制を作る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 11 日 (17 : 00 ~ 19 : 00)

7. 運営

メンバー 常勤 : 6 名 非常勤 : 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未記入 (新入社員等)	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	0 人	3 人	1 人	0 人	8 人	12 人

前回の改善計画

1. 地域の声に耳を傾け、事業所ミーティング、運営推進会議の場で地域の意見について話し合っていく。
2. 自分も運営に携わっているということを意識してミーティングでは積極的に発言していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

地域との交流の場に進んで参加する機会を作れた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未記入 (新入社員等)	合計 (総人数)
① 事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	0	8	1	3	0	12
② 利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	8	2	1	0	12
③ 地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	7	2	2	0	12
④ 地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	2	9	1	0	0	12

できている点 *よくできているまたはなんとかできているの意見

意見等、上司には相談できている。職員同士が活発に意見交換して活動している。外部からの意見や苦情については、真摯に受け止め、職員間の連絡ノート等で情報共有し、周知徹底と改善に努めている。利用者・家族からの声等を聞けるように心掛けている。意見箱の設置。地域と協働した取り組みはできている。地域行事やゴミ掃除等へ参加している。事業所通信のチラシで事業所からのお知らせを行っている。

できていない点 *あまりできていないまたはほとんどできていないの意見

地域の方からの意見・苦情はほとんどない。
地域の方々との交流の場が少なく、まだ遠慮があり、言い合える関係が築けていないのではないかと。

次回までの具体的な改善計画

① 地域に根差した『貴重な一資源』となれるように、よりよい事業所運営を考え、職員間の意見交換、利用者・家族の想いを今以上に傾聴し、理解すること。
② 事業所の近隣から地域まで、ともに暮らしていく意識を日々忘れない。
③ 地域行事やゴミ掃除等へは、今後も積極的に参加する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 11 日 (17 : 00 ~ 19 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 常勤 : 6 名 非常勤 : 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未記入 (新入社員等)	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	0 人	3 人	1 人	0 人	8 人	12 人

前回の改善計画

1. 研修の参加。スタッフ一人一人がスキル向上の意識をもち、研修参加の意識を高める。
時間の確保が難しいときは、管理者、主任に相談し時間調整してもらう。

前回の改善計画に対する取組み結果

研修に参加できない職員はいたが、常勤職員に関しては目的をもって研修に参加することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未記入 (新入社員等)	合計 (総人数)
① 研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	3	3	5	1	0	12
② 資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	2	6	1	0	12
③ 地域連絡会に参加していますか	0	2	8	2	0	12
④ リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	6	3	1	0	12

できている点 *よくできているまたはなんとかできているの意見

年間研修計画をたて、各職員から研修参加の声掛けをしている。また、社内から外部研修の案内を回覧している。その際、事業所内への伝達講習も行えている。
社の合同ミーティングの場では、ミニ研修会(感染対策等)を開催している。
自己研鑽の研修にも各自参加しており、今年は、1 名が介護支援専門員資格試験を受験した。
リスクマネジメント委員会を主とした取り組みの一環で、ヒヤリハット・事故報告書の作成・提出を行っている。

できていない点 *あまりできていないまたはほとんどできていないの意見

外部研修に参加できていない職員がいた。理由は、個別にそれぞれあり。
管理者、主任以外の職員は、地域連絡会に参加できていない。
事故等の再発防止策の徹底やフィードバックが不十分な為、類似案件の再発がある。

次回までの具体的な改善計画

① 外部研修案内の回覧を継続し、参加希望者が参加できる業務運営体制を整える。
管理者および主任らは、資格取得やスキルアップ関連の研修への参加を後押しする。
② リスクマネジメント委員会を主とした取り組みを継続し、事故防止に努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 11 月 11 日 (17 : 00 ~ 19 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 常勤 : 6 名 非常勤 : 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未記入 (新入社員等)	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	0 人	3 人	0 人	0 人	9 人	12 人

前回の改善計画

1. 虐待、拘束にならないための話し合いは今後も継続しておこなっていく。
ハード面が厳しい中でもプライバシーの確保について意識し話し合っていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

概ねできた。プライバシーの保護については、今後も工夫が必要。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	未記入 (新入社員等)	合計 (総人数)
① 身体拘束をしていない	6	6	0	0	0	12
② 虐待は行われていない	9	3	0	0	0	12
③ プライバシーが守られている	2	4	6	0	0	12
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	3	8	0	0	1	12
⑤ 適正な個人情報の管理ができている	0	10	1	1	0	12

できている点 *よくできているまたはなんとかできているの意見

虐待はなく、身体拘束は、切迫性があり、一時的(生命の危険があり、止むを得ない場合)なもの以外はない。夜間等、屋外への徘徊が予想される方に関して、ご家族、または運営推進委員会に持ち上げて検討している。事業所トイレで、排泄ケアを行う際、車いすの方の介助時、安全に介助を行う為にドアを開放する場合は、パーテーション等を活用している。必要な方へは、成年後見制度を紹介、説明して導入している。

できていない点 *あまりできていないまたはほとんどできていないの意見

通い・宿泊サービス時、事業所フロアの構造上、完全なプライバシーの保護が困難となる。申し送り等、職員同士の情報交換の内容が利用者の耳に届く可能性がある。個人ファイル等が利用者の目の届くところに置かれている時がある。記録の途中で、利用者のケアが発生するため、出しっぱなしになってしまうことがある。フロア業務中に電話が入り、そのままフロアで利用者の話をしてしまうことがあった。

次回までの具体的な改善計画

① ハード面に関して、構造上の問題点はあるが、職員の知恵や工夫で、できる限りプライバシーの保護が成り得るということを再認識して、状況の改善に努める。

② 利用者の様々な状態・状況について、職員間での情報交換は当然なされることだが、常に周囲に配慮して行う。個人情報に記載された書類等についての管理方法も再検討する。書類の保管場所や記録を行う場所等を決めて、職員間で周知徹底する。